

2008年 4月18日
東日本旅客鉄道株式会社

2008年度設備投資計画について

このたび、長期の経営構想「グループ経営ビジョン2020 - 挑む - 」を発表しました。この中で、3年間の設備投資額として1.4兆円（連結）、1.1兆円（単体）を掲げています。この「グループ経営ビジョン2020 - 挑む - 」の初年度となる2008年度の設備投資計画を策定しましたのでお知らせいたします。経営目標と計画の達成に向けて、重要な経営課題に取り組んでまいります。設備投資額（単体）は、3,400億円を見込んでいます。

1 安全とお客さま満足の徹底的な追求

昨年度に引き続き自然災害対策（地震・強風・落石対策等）に取り組むほか、重大事故の防止に向け、当社の安全基本計画「安全計画2008」に基づき、ATS-P、Psなどの整備拡大をはじめとする安全設備の整備を推進します。

バリアフリー設備、総合案内カウンター、駅案内設備の充実など、わかりやすく安心してお客さまにご利用いただける駅づくりを行います。

駅をより快適にご利用いただけるよう、トイレ、待合室、ベンチなど、お客さまサービス設備の改良、拡充を行うとともに、お客さまをお待たせしない販売体制として新しい「びゅうプラザ」の整備に引き続き取り組みます。

山形新幹線用車両の新造を行います。

2 持続的成長と次代への挑戦

東北新幹線高速化に向けた設備整備に取り組みます。

宇都宮・高崎・常磐線を東京駅に乗り入れるルート（東北縦貫線）の工事に着手します。

省力化軌道やインテグレート架線など省メンテナンス化した設備への更新を進めます。

3 企業の社会的責任の遂行

地域の街づくりと連携して、連続立体交差化事業を中央線三鷹～立川間と信越線新潟駅付近などで取り組み、開かずの踏切対策を行います。

京浜東北線への新型車両の投入や川崎火力発電所 4 号機を取替増強により、CO₂排出削減に引き続き取り組めます。

4 組織の力・人材の力の向上

社員の世代交代に備えて、教育・訓練設備の整備を行います。

5 生活サービス事業の積極的展開

丸の内駅舎復原など東京ステーションシティにおける開発に引き続き取り組めます。

グランデュオ蒲田、エキュート立川 期・ホテルメッツ立川、仙台駅エスパル の開業など、駅を中心とした生活サービス事業の展開を進めます。

6 Suica事業を経営の第3の柱として確立

首都圏及び仙台・福島エリアにおいて Suica の利用エリアを拡大するとともに、JR北海道との相互利用など利便性の拡充に取り組めます。

Suica ポイントクラブの機能拡充など、電子マネービジネスを積極的に展開してまいります。

2008年度 JR東日本(単体) 設備投資計画概要

設備投資額

(単位:億円)

	2008年度計画 A	2007年度計画 B	増 減 A - B
交通サービス部門	3,070	2,590	+480
生活サービス部門	330	510	180
合 計	3,400	3,100	+300
リース投資	138	<small>会計基準の変更に伴い、2008年度より記載することとしました。</small>	

安全投資と生活サービス投資の内訳

(単位:億円)

	2008年度計画 A	2007年度計画 B	増 減 A - B
安全投資総額	1,680	1,450	+230
自然災害対策 (地震・強風・落石対策等)	270	300	30
列車衝突事故防止	80	40	+40
安定輸送	210	210	±0
基幹設備の更新	870	750	+120
生活サービス投資総額	330	510	180
ステーションルネッサンス	90	80	+10
東京ステーションシティ	70	360	290
駅ビル開発	80	30	+50



グランデュオ蒲田



エキュート立川(期)・ホテルメッツ立川



田端駅ステーションルネッサンス



エスパル (仙台駅北部高架下)

2008年度に計画している主な件名

安全とお客さま満足の徹底的な追求

自然災害対策(地震・強風・落石対策など)
 ATS-P、Ps整備等列車衝突事故防止対策
 首都圏輸送障害対策
 バリアフリー設備整備
 駅案内設備・お客さまサービス設備の拡充
 新しい「びゅうプラザ」の整備
 山形新幹線用車両新造

中央線三鷹～立川間連続立体交差化
 信越線新潟駅付近連続立体交差化
 新型車両新造(京浜東北線など)

新幹線騒音対策
 特定フロン対策

川崎火力発電所4号機取替増強

組織の力・人材の力の向上

訓練設備整備(駅・乗務員)
 駅バックヤード整備
 女性社員設備整備

東北新幹線高速化
 東北縦貫線整備
 首都圏在来線列車無線デジタル化
 研究開発センター試験設備増備
 省力化軌道敷設
 インテグレート架線整備

企業の社会的責任の遂行

持続的成長と次代への挑戦



自然災害対策(地震対策)



新しい「びゅうプラザ」の整備



バリアフリー設備整備



山形新幹線用車両新造



東北縦貫線整備



Suicaエリア拡大

生活サービス事業の積極的展開

東京ステーションシティ
 グランデュオ蒲田
 田端駅ステーションルネッサンス
 エキュート立川(二期)・ホテルメッツ立川
 エスパル(仙台駅)

Suica事業を経営の第3の柱として確立

Suicaエリア拡大(首都圏、仙台・福島エリア)
 Suica相互利用(JR北海道)
 Suicaポイントクラブの機能拡充